

【適用害虫と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類 オオタバコガ シロイチモジヨトウ	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の処理は 3 回以内)
	アザミウマ類 アブラムシ類	20 倍	1～2 ℓ/10a			無人航空機 による散布	
		2000 倍	100～300 ℓ/10a			散布	
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類 シロイチモジヨトウ	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a			無人航空機 による散布	
	アブラムシ類 キスジノミハムシ	20 倍	1～2 ℓ/10a			散布	4 回以内 (は種時までの 処理は 1 回以内、 は種後の処理は 3 回以内)
		2000 倍	100～300 ℓ/10a			無人航空機 による散布	
だいこん	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 ダイコンハムシ	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a			散布	
	アブラムシ類 ハモグリバエ類 キスジノミハムシ ヨトウムシ	20 倍	1～2 ℓ/10a			無人航空機 による散布	
	アブラムシ類 ハモグリバエ類 キスジノミハムシ	2000 倍	100～300 ℓ/10a			散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の処理は 3 回以内)
	ヨトウムシ	4000 倍	100～300 ℓ/10a			無人航空機 による散布	
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a			無人航空機 による散布	5 回以内 (定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計 1 回以内、 定植後の株元灌注 は 1 回以内、 定植後の散布は 3 回以内)
	アザミウマ類 アブラムシ類	20 倍	1～2 ℓ/10a			散布	
トマト ミニトマト	オオタバコガ	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a			散布	
	ハモグリバエ類 コナジラミ類 アザミウマ類 アブラムシ類 トマトキバガ	2000 倍	100～300 ℓ/10a			散布	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	シアトラニリプロール を含む農薬の 総使用回数	
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 ウリノメイガ ウリハムシ	2000 倍	100～300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計 1 回以内、 定植後の散布は 3 回以内)	
レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ウバ類 シロイチモジヨトウ	2000～ 4000 倍	1～2 ℓ/10a			無人航空機 による散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の処理は 3 回以内)	
	ハモグリバエ類 アブラムシ類	2000 倍				散布	4 回以内 (定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計 1 回以内、 定植後の散布は 3 回以内)	
	ピーマン	オオタバコガ	2000～ 4000 倍				100～300 ℓ/10a	4 回以内 (定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計 1 回以内、 定植後の散布は 3 回以内)
アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類		2000 倍	4 回以内 (灌注は 1 回以内、 散布は 3 回以内)					
ししとう	オオタバコガ	2000～ 4000 倍	2000 倍					4 回以内 (定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計 1 回以内、 定植後の散布は 3 回以内)
	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	2000 倍						4 回以内 (定植時までの 処理及び定植直後 の株元灌注は 合計 1 回以内、 定植後の散布は 3 回以内)
いちご	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 チバクロバネキノコバエ カキノヒメヨコバイ							2000 倍
	アスパラガス	ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍					3 回以内
アザミウマ類		2000 倍	3 回以内					
オクラ	アブラムシ類	2000 倍	100～300 ℓ/10a	収穫開始 3 日前まで	3 回 以内	無人航空機 による散布	4 回以内 (は種前の処理は 1 回以内、 は種後の処理は 3 回以内)	
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシンクイガ アブラムシ類	2000～ 4000 倍	0.8～2.4 ℓ/10a	収穫前日 まで				
だいず		32 倍		収穫 7 日前まで				
さやいんげん		2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a	収穫前日 まで		散布	3 回以内	
	ハスモンヨトウ	4000 倍						
	ハモグリバエ類	2000 倍						
かぼちゃ	アズキノメイガ	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a	無人航空機 による散布		散布		
	ハスモンヨトウ	4000 倍						
	ハモグリバエ類	2000 倍						
	ハスモンヨトウ	20 倍	1～2 ℓ/10a					
	ハモグリバエ類	2000 倍	100～300 ℓ/10a					

®を付した商標は FMC Corporation またはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標
ご使用の際は必ず製品ラベルをご確認ください

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤 の使用 回数	使用方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
ねぎ	シロイチモジヨトウ アザミウマ類 ハモグリバエ類 ネギコガ	2000 倍	100～300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の処理は 3 回以内 (但し、株元灌注は 1 回以内))
		20 倍	1～2 ℓ/10a			無人航空機 による散布	
たまねぎ	シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000 倍	100～300 ℓ/10a	収穫 7 日前まで		散布	3 回以内
		20 倍	1～2 ℓ/10a			無人航空機 による散布	
	アザミウマ類	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a			散布	
にんにく	アザミウマ類 ネギコガ アブラムシ類	2000 倍	1～2 ℓ/10a	無人航空機 による散布			
		20 倍				散布	
やまのいも	ナガイモコガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 コガネムシ類	4000 倍	100～300 ℓ/10a	無人航空機 による散布			
		40 倍	1～3 ℓ/10a			散布	
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ アリモドキゾウムシ イモゾウムシ ヨツモンカメノコハムシ ヒルガオハモグリガ タバココナジラミ	4000 倍	100～300 ℓ/10a	無人航空機 による散布			
		40 倍	1～2 ℓ/10a	散布			
ばれいしょ	ハスモンヨトウ アブラムシ類 ジャガイモガ	4000 倍	100～300 ℓ/10a	無人航空機 による散布			
		40 倍	2～3.2 ℓ/10a		散布		
		2000 倍	100～300 ℓ/10a		無人航空機 による散布		
にんじん	アブラムシ類 ヨトウムシ ハスモンヨトウ キアゲハ	2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a	3 回 以内	散布	3 回以内	
		40 倍			1～2 ℓ/10a		無人航空機 による散布
		4000 倍			100～300 ℓ/10a		散布
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類 アワノメイガ オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	2000 倍	2～3.2 ℓ/10a	2 回 以内	無人航空機 による散布	2 回以内	
		40 倍	100～300 ℓ/10a		散布		
		2000～ 4000 倍	100～300 ℓ/10a		散布		
たばこ	ヨトウムシ タバコノミハムシ	4000 倍	100～180 ℓ/10a	収穫 10 日前まで	2 回 以内	散布	2 回以内

